



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月31日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社
 コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 松本 清一郎
 (氏名) 山戸 康彦
 TEL 03-3664-3980

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,320	13.1	124		128		59	
2019年3月期第2四半期	4,705	7.3	23		23		37	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	2.72	
2019年3月期第2四半期	1.72	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,116		10,741			50.9
2019年3月期	21,612		10,892			50.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 10,741百万円 2019年3月期 10,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				3.00	3.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,900	6.1	140	183.3	180	667.7	90	13.7	4.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	21,974,000 株	2019年3月期	21,974,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	147,184 株	2019年3月期	147,124 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	21,826,846 株	2019年3月期2Q	21,827,160 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化等により、外需に関する不透明感が増す中、厳しい見方が広がっています。

化学工業におきましても、国際市況が低迷しつつある一方、中東情勢の緊迫化等による原油相場の上昇に伴い、石化製品の値上げや為替動向等、先行きは予断を許さない状況にあります。

このような状況下、当社は社内外の環境変化に迅速かつ的確に対応しつつ、重要課題を克服・解決しながら更なる発展の礎を築いていくことを念頭において、具体的方策への取り組みを行っているところであります。

当第2四半期累計期間の業績状況といたしましては、売上高は前年同四半期比13.1%増の5,320百万円となり、売上高の増加に伴い、営業利益は124百万円、経常利益は128百万円、四半期純利益は59百万円となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2019年3月期第2四半期累計期間				2020年3月期第2四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	572	1,298	1,870	39.8	554	1,173	1,728	32.5
化成品関係	1,369	254	1,623	34.5	1,450	292	1,743	32.8
医薬品関係	812	397	1,210	25.7	1,489	358	1,848	34.7
計	2,755	1,950	4,705	100.0	3,495	1,825	5,320	100.0
構成比(%)	58.6	41.4	100.0		65.7	34.3	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(アミノ酸関係)

輸出を中心にアミノ酸の販売がやや減少しました。また、ビタミン原料の輸出販売が、好調であった前年同四半期と比べて大きく減少したことから、売上高は1,728百万円と、前年同四半期と比べ142百万円(7.6%)の減収となりました。

(化成品関係)

半導体表面処理剤の国内販売が減少したものの、一部の特殊触媒の国内販売や輸出が好調であったことから、売上高は1,743百万円と、前年同四半期と比べ119百万円(7.4%)の増収となりました。

(医薬品関係)

既存薬の一部で輸出が減少したものの、既存薬、ジェネリック原薬、新薬中間体の国内販売が好調であったことから、売上高は1,848百万円と、前年同四半期と比べ637百万円(52.7%)と大幅な増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

当第2四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から114百万円減少し、9,295百万円となりました。これは主に、現金及び預金、製品、原材料の増加と、受取手形及び売掛金、仕掛品の減少によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から382百万円減少し、11,820百万円となりました。これは主に、機械及び装置、投資有価証券の減少によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から158百万円減少し、6,468百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加と、1年内返済予定の長期借入金、短期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から186百万円減少し、3,906百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から151百万円減少し、10,741百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は1,536百万円となり、前事業年度末に比べ205百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は1,134百万円(前年同四半期は666百万円の増加)となりました。これは主に、減価償却費467百万円、売上債権の減少1,113百万円、仕入債務の増加308百万円等による増加と、たな卸資産の増加352百万円等による減少との差額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は253百万円(前年同四半期は1,278百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出237百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は675百万円(前年同四半期は867百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金返済による支出300百万円と、長期借入金返済による支出297百万円等によるものであります。

(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明

現時点における当社の2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,331	1,536
受取手形及び売掛金	3,204	2,091
製品	2,938	3,216
仕掛品	754	402
原材料	883	1,308
その他	297	741
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,410	9,295
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,517	2,471
機械及び装置（純額）	2,707	2,552
土地	3,110	3,110
建設仮勘定	25	65
その他（純額）	1,472	1,416
有形固定資産合計	9,833	9,615
無形固定資産	66	56
投資その他の資産		
投資有価証券	1,967	1,758
その他	334	388
投資その他の資産合計	2,302	2,147
固定資産合計	12,202	11,820
資産合計	21,612	21,116
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,435	1,813
電子記録債務	350	279
短期借入金	3,500	3,200
1年内返済予定の長期借入金	595	495
未払法人税等	25	49
賞与引当金	141	146
設備関係電子記録債務	97	88
その他	481	394
流動負債合計	6,627	6,468
固定負債		
長期借入金	2,260	2,062
再評価に係る繰延税金負債	617	617
退職給付引当金	975	1,000
資産除去債務	14	14
その他	225	212
固定負債合計	4,092	3,906
負債合計	10,719	10,374

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金	3,250	3,250
利益剰余金	3,321	3,315
自己株式	△47	△47
株主資本合計	9,995	9,989
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	745	600
土地再評価差額金	151	151
評価・換算差額等合計	897	752
純資産合計	10,892	10,741
負債純資産合計	21,612	21,116

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,705	5,320
売上原価	3,815	4,136
売上総利益	889	1,184
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	196	195
賞与引当金繰入額	34	34
研究開発費	213	398
その他	467	430
販売費及び一般管理費合計	912	1,060
営業利益又は営業損失(△)	△23	124
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	40	29
雑収入	12	14
営業外収益合計	53	44
営業外費用		
支払利息	26	26
支払手数料	22	11
雑損失	4	2
営業外費用合計	53	40
経常利益又は経常損失(△)	△23	128
特別損失		
固定資産除却損	16	42
特別損失合計	16	42
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△40	86
法人税等	△2	26
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37	59

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	△40	86
減価償却費	432	467
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47	5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21	24
固定資産除却損	16	42
受取利息及び受取配当金	△40	△29
雑収入	△11	△14
支払利息	26	26
雑損失	0	2
支払手数料	22	11
売上債権の増減額(△は増加)	376	1,113
たな卸資産の増減額(△は増加)	△582	△352
仕入債務の増減額(△は減少)	444	308
未払又は未収消費税等の増減額	89	△28
その他	△18	△553
小計	690	1,109
利息及び配当金の受取額	40	29
利息の支払額	△27	△28
その他	△12	0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△24	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	666	1,134
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,270	△237
有形固定資産の除却による支出	△9	△18
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	1	1
その他固定資産の取得による支出	△0	△0
その他固定資産の解約による収入	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,278	△253
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,300	△300
長期借入金の返済による支出	△289	△297
リース債務の返済による支出	△12	△12
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△130	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	867	△675
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	256	205
現金及び現金同等物の期首残高	894	1,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,150	1,536

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(重要な後発事象)

当社の常磐工場(福島県いわき市)におきましては、先日の台風19号と10月25日(金)の記録的短時間大雨により、工場敷地内で生産設備機器への部分的な浸水等の被害が発生いたしました。今回の災害による業績への影響は現在精査中でありますので、判明次第必要に応じ、速やかにお知らせいたします。